

途上国の母子保健を変える

～母子の命を守るため 12 か国の医療従事者が高槻病院で研修～

JICA 関西は「妊産婦・新生児保健医療・臨床ケア」研修を、愛仁会高槻病院（大阪府高槻市）にて、2026 年 10 月 15 日から 11 月 6 日まで実施中です。

アンゴラ、ブルンジ、ジャマイカ、ヨルダン、リベリア、北マケドニア、サモア、シエラレオネ、タンザニア、東ティモール、ザンビア、ソロモン諸島の 12 か国から 12 名の産科医、新生児科医、助産師、看護師が参加し、自国の周産期ケア及び新生児保健医療の改善に向け、日本の先進的な取り組みを学んでいます。彼らは、母国の臨床現場で新しい命を救うべく日々奮闘していますが、日本のシステムや事例を学ぶことにより、自国での新生児死亡率の削減に貢献することを強く希望しています。

大阪府は、医療機関の自主的な相互連携により全国に先駆けた周産期医療に取り組んでいます。高槻病院はそのうち重症妊産婦に対する緊急医療体制である OGCS（大阪産婦人科診療相互援助システム）の基幹病院として、総合周産期母子医療センターにおいて北大阪を中心に緊急母体搬送を数多く受け入れています。

研修では、講義や施設見学に加え、実践的な演習も行われます。10 月 27 日には、多くの開発途上国で課題となっている新生児死亡の低減に向け、生まれた直後の新生児の呼吸・循環を支援する「新生児蘇生法」について、実技演習を通じて学びます。また、11 月 6 日には、11 月 15 日の「世界早産児デー」に合わせて高槻病院で開催される啓発イベントに参加します。早産で生まれた赤ちゃんとその家族への理解を深め、支援の輪を広げる取組を体験し、各国での母子保健活動への活用を検討します。

世界各国で母子保健の最前線を担う医療従事者が、日本の経験と知見を学び、自国の医療現場へ持ち帰る貴重な機会となります。ぜひ取材をご検討ください。

● プログラム

日時	内容	場所
10 月 27 日（火） 13:00-15:30	新生児蘇生法実習	社会医療法人愛仁会高槻病院
11 月 6 日（金） 16:00-	「世界早産児デー」啓発イベント	社会医療法人愛仁会高槻病院

言語：英語（日本語通訳あり）

- お申込み：準備の都合上、10 月 26 日（月）10：00 までに、下記問い合わせ先にご連絡下さい。

【本件に関する問い合わせ先】	
JICA 関西 研修業務課 TEL 078-261-0383	社会医療法人愛仁会高槻病院事務部国際科 TEL 072-681-3801